

別紙様式 1

令和元年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立あすたむらんど	施設所在地	板野郡板野町那東字キビガ谷 4 5 - 2 2
指定管理者名	株式会社ネオビエント	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
施設所管課	にぎわいづくり課	【連絡先】	088-621-2132

1 施設の概要

設置年月日	平成13年7月1日
設置目的	科学に関する体験及び人と人との交流の場を提供することにより、創造性豊かな青少年の育成及び県民の余暇活動の充実に資するため。
施設内容	吉野川めぐり、四季彩館、子ども科学館（プラネタリウム）、くつろぎ館、冒険の国、探検の国など
利用料金等	徳島県立あすたむらんどを設置及び管理に関する条例に定めるとおり
開館日・休館日等	8月12日から8月15日までを除く期間の水曜日（水曜日が祝日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）とする。

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	①徳島県立あすたむらんどを設置及び管理に関する条例第2条各号に掲げる事業の実施に関する業務。 ②あすたむらんど施設等の維持管理に関する業務。 ③あすたむらんど利用の許可に関する業務。 ④あすたむらんど使用料の徴収に関する業務。 ⑤その他あすたむらんど管理に関し、知事が必要と認める業務。
------------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 34 名 臨時職員 5 名 計 39 名
	正規職員：34名、パート・常勤：4名、パート・非常勤：1名、アルバイト（常勤）：0名

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R1年度	41,955	59,792	21,462	26,144	48,086	37,621	42,638	42,706	55,738	29,130	21,041	22,028	448,341
	前年度	41,172	50,140	23,194	20,300	50,986	36,648	45,673	35,435	55,715	26,866	18,648	31,316	436,093
	前々年度	46,091	56,911	22,026	26,674	56,460	36,315	27,127	37,956	54,579	22,965	14,513	37,300	438,917

月別利用 料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R1年度	7,505	9,839	3,838	6,276	15,565	5,644	5,565	4,527	7,577	5,367	3,365	2,161	77,229
	前年度	6,930	8,050	3,846	5,392	16,282	5,647	6,001	4,954	7,927	5,400	2,494	4,933	77,856
	前々年度	7,358	9,768	3,595	6,699	17,662	4,967	3,741	4,826	7,790	4,536	2,284	5,844	79,070

施設毎 利用料金収入 (千円)		カレイドシアター	吉野川めぐり	科学館	プラネタリウム	多目的ホール等	計
	R1年度	2,524	28,390	35,186	10,979	150	77,229
	前年度	2,133	27,376	35,818	12,334	195	77,856
	前々年度	2,276	27,999	37,240	11,296	259	79,070

5 収支の状況

(単位：千円)

項目		令和元年度	平成30年度（前年度）	平成29年度（前々年度）
収入	指定管理料	668,122	655,769	656,223
	利用料金収入			
	事業収入	14,322	13,483	13,618
	その他	4,190	3,945	4,250
	計	686,634	673,197	674,091
支出	人件費	148,305	145,288	138,711
	管理運営費	461,733	467,906	456,126
	事業費			
	その他	61,009	59,375	59,443
	計	671,047	672,569	654,280
収支		15,587	628	19,811

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<p>光熱水費では、前年契約先を変更した電力について前年度より約8%削減できている。イベント実施に係る業務委託・消耗品を購入する際は、複数の取引先から見積りを徴収し、価格交渉を行うことで経費削減に努めている。また、費用・購入先を一元的に管理し、重複購入や同様の契約を個々に結ぶ事を防いでいる。</p> <p>施設内の修繕は計画を立てて、優先度が高いものから順次進めており、元年度はピオトープウッドデッキの床板・支柱の経年劣化による修繕を、腐食または耐久性に強い人工木を取り扱う県内企業に依頼した。安心・安全な素材を使用しており、メンテナンス不要でコストも削減できる。</p> <p>また、修繕・イベントについても引き続き業者選定や見積り内容の精査を行い、経費削減につなげていく。</p> <p>職員で実施できるものはできるだけ直営にするなど、維持管理の削減に取り組んでいる。</p>
サービス向上の取組	<p>あすたむウォーターパークでは、猛暑時期の熱中症対策として、幼児のお子様でも安心して水遊びができるように、水深を浅くした水遊び場やスライダーを設置して開催した。元年度は新たにバブルマシーンを購入し、日曜日に限定して泡で遊べるコーナーを設置した。</p> <p>Happy X'mas 2019では、「魔法の時間～MagicTime～」をテーマに、イルミネーションの数を前年度より1万球増やして装飾を行った。また、テーマに合わせて「幻想的・不思議」を感じさせるよう、参加者の動きに合わせて光の色や流れが変化するコンテンツを増やし、大勢の参加者に楽しんで頂くことができた。</p> <p>サービス向上委員会では、従来の園内設置型アンケートや聞き取りアンケートに加えて、社員・スタッフが接客中にお客様からいただいた声を記入し、さらにお客様の声を取り入れるようにした。</p>

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「あさんウォーキングフェスタ in いたの」では、「環境と健康を考える」をテーマに、ウォーキングイベントや環境イベントを実施した。 ・「四国放送まつり」では、有名アーティストのライブを中心に飲食ブースの出店、テレビの公開生放送などを実施した。 ・「とくしま暮らしと家フェスタ2019」では、住宅総合イベントやアンパンマンショーを実施した。 ・「木の日イベント」では、樹木に関するパネル展示、ブルーベリーやオリーブなどの苗木の無料配布を実施した。 ・「とくしま木づかいフェア」では、ステージイベントや木製品の販売などを実施した。 ・「いい育児の日『Go!Go!くっつき隊』子育て応援フェスタ」では、親子参加型イベントを中心に、ステージではドラえもんショーを実施した。 ・交通安全フェスタでは、警察車両等の展示など親子で楽しく体験しながら交通安全について学べるイベントを実施。ステージでは、ウルトラマンゼロと一緒に交通ルールを学ぶウルトラマンヒーローショーも開催した。
----------	---

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	定置式アンケートを実施し、その結果をサービス向上委員会に諮ることで、利用者ニーズへの適切な対応が図られている。 また、有識者会議も行き、さらなる利用者ニーズの把握・分析に努めている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	「四国放送まつり」や「あさんウォーキングフェスタ in いたの」など、提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。 継続事業については、内容を充実させるなど工夫を行っている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	修繕等年次計画に基づき適正な維持管理がなされている。 備品の購入時や調達時には、月報で報告している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	クリスマスイルミネーションにおいて、社員がプログラミング技術を習得しての自主制作を行ったり、経費の削減に努めた。 また、電力自由化に伴い、電力会社9社による見積りを行い、契約先を変更した。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	研修には力を入れており、積極的に取り組んでいる。 経理に係るチェックも複数人で行っている。 利用料金やセルフモニタリングについては月次報告書・通帳写しにより適正に行われていることを確認した。 情報管理に関してもプライバシーマークを取得している。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	業務体制報告書に記載されたとおりの体制が確保されている。 ノー残業デーを設けるなど、超過勤務縮減のための取り組みを実施している。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	職員・スタッフのほとんどを地元採用している。 業務委託については技術的な制約がある場合を除いて、地元企業への委託を優先している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	地元自治体や企業で組織されている「あさんウォーキングフェスタ実行委員会」で、環境と健康をテーマに「あさんウォーキングフェスタ in いたの」を開催した。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	事故発生時などの緊急連絡体制が整備されている。また、事故などが発生した場合には、瑕疵の有無にかかわらず、社内で周知報告がなされ、県に報告している。 火災、地震などあらゆる事態を想定した防災マニュアルが整備されており、防災訓練の実施等により職員教育がなされている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	園内の草木をたい肥にして再利用している。 園内にゴミ箱は無く、ゴミを持ち帰っていただくようにしている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	関係法令を遵守し、法定点検など適正に行われている。 情報公開に関する規程を整備している。
総合評価	A	今年度は、2月以降に流行した新型コロナウイルス感染症の影響により、入園者数、使用料収入ともに前年度より減少した。しかし、2月までの実績は概ね協定書の内容どおりであり、入園者、使用料収入ともに目標を達成、または超える見込みであったため適切な管理運営が行われていることが確認できた。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

開園以来18年以上経過し、施設・遊具などの老朽化が顕著となっており、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。

新しい企画やイベントのブラッシュアップ、設備や展示物のメンテナンスと改善をし、さらなる利用促進へ取り組んでいく必要がある。お客様満足度の向上に力を入れていきたい。

新型コロナウイルスの影響にともなう新しい生活様式を考慮した利用方法について、内部でもゼロから見直しを始めていく必要がある。